

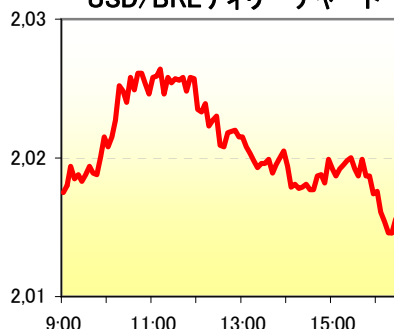
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

1. マーケット・レート

			7月13日	7月16日	7月17日	7月18日	7月19日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,0370	2,0360	2,0270	2,0240	2,0160	-0,0080
	USD/YEN	Spot	79,26	78,82	79,05	78,77	78,59	-0,18
	EUR/USD	Spot	1,2241	1,2275	1,2277	1,2274	1,2269	-0,0005
	BRL/YEN	Spot	38,91	38,71	39,00	38,92	38,98	+0,0600
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,74	1,74	1,75	1,86	1,81	-0,0462
		1Year(p.a.)	2,28	2,31	2,28	2,34	2,30	-0,0471
	Real Interest	6MTH(p.a.)	7,44	7,43	7,45	7,43	7,39	-0,04
		1Year(p.a.)	7,37	7,33	7,42	7,39	7,34	-0,05
Stock	Bovespa		54.331	53.402	53.909	54.583	55.347	+764
Bond	CDS Brazil 5y		139,16	140,34	139,08	141,83	139,84	-1,99
	Global 40		129,800	129,500	129,250	129,500	128,875	-0,63

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

USD/BRLディリーチャート



2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGVインフレ率-IGP-M (プレビュー)	1.00%	1.11%	0.95%

3. 要人コメント

なし

4. 市況、トピックス

- 早朝に発表された注目の7月COPOM議事録では「世界的な景気の低迷がブラジルにディスインフレーション・インパクトを与えている。インフレは低下トレンドにある。」と前回同様のコメントが発表され、追加利下げに含みを持たせる格好となった。
- オーバーナイト市場ではスペインの銀行救済問題に絡んだ欧州金融システム不安からユーロが下落。レアルはU\$1=R\$2.0210と朝方こそ小高く寄り付いたが、ユーロの下落に連れる格好でじりじりと売りが優勢となった。
- COPOM議事録を受けた先物金利の下落もレアル売りを加速させ、11時過ぎに本日のレアル安値となるU\$1=R\$2.0270を付けた。しかし同タイミングで発表された米指標が軒並み予想を下回ると俄かにQE3に対する期待が高まり、リスク資産全般に買いが入る中、レアルもじりじりと買戻しが優勢となった。
- 午後に入ると大口のインフローの噂からレアルは続伸し、引け間際に本日のレアル高値となるU\$1=R\$2.0100を示現し、結局U\$1=R\$2.0160でクローズした。

ボベスパ指数直近5営業日



CRB商品指数直近5営業日



当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。なお